

病院だより

☎ 市民病院医事課

☎ 43-2511(代表)

内科循環器科

循環器科で行っている治療

循環器疾患には、「狭心症・心筋梗塞」、「不整脈疾患」、「心不全」といった病気があります。

狭心症や心筋梗塞の疑いのある方に対しては、心臓の血管が詰まっているかどうかを調べるためのカテーテル検査、また狭くなっている血管に対しては、バルーンやステント（金属製のチューブ）を使って血管を広げる治療（PCI）を行っています。

以前は、足からの治療で大変でしたが、今ではほとんど上肢から検査・治療ができるため、患者さんの負担が少なくなっています。最新の64列CTも導入されていますので、カテーテル検査に抵抗ある方も簡単に心臓の血管を調べることができます。また、心不全に対して外来や入院での治療、血圧管理・不整脈の治療、徐脈性不整脈のヘイスレーカー治療も行っています。

昨年度の症例数は、PCIは220件、カテーテル検査は460件と地域有数の症例数で、合併症も少なく、安心して受けられる治療を行っています。

よりよい治療を提供します

鳥越勝行部長を中心に、今まで以上に充実した体制で、皆さんの健康をサポートしていきます。



循環器科スタッフ

また今後、重症患者が増えるに従って、専門的な集中治療が必要となるため、専属スタッフを置くなど、より高度な医療（CCU※）を目標とします。今後、よりよい治療を提供できるようにスタッフ一丸となって頑張ります。

※CCU：環状動脈疾患管理室と呼ばれ、心筋梗塞などの冠状動脈疾患の急性危機状態の患者を治療看護する部門



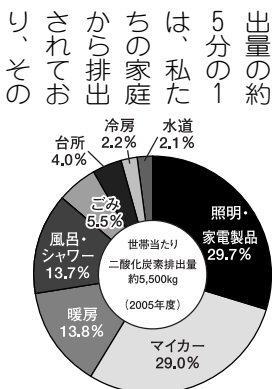
Let's Enjoy EcoLife
～みんなでチャレンジ！エコライフ～

☎ 環境政策課環境企画係 ☎ 44-3135

◎生活の中から地球温暖化対策を！

エネルギーの消費による二酸化炭素などの温室効果ガス増加に伴う地球温暖化は、気候の大きな変動や、生態系の急激な変化などの問題を引き起こすと考えられています。

日本は、世界で4番目に多く二酸化炭素を排出しています。そして、国内の排出量の約5分の1は、私たちの家庭から排出されています。



<家庭からの二酸化炭素排出量>

量は年々増加傾向にあります。私たちは現在、たくさんの電気やガス、ガソリンなどのエネルギーを消費することによって、快適で便利な生活を送っていますが、豊かな地球環境を後の世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが省資源・省エネルギーに取り組む必要があります。

◎みんなでチャレンジ！エコライフ

市や県、県地球温暖化防止活動推進センターでは、地球温暖化防止に取り組む家庭を支援する「みんなでチャレンジ！エコライフ」事業を協働で行っています。

参加家庭は、7月から9月の3か月間、チャレンジブックを活用して省エネに取り組み、月ごとの電気使用量などを記録すると、その結果から、二酸化炭素の排出傾向や削減量を知ることができると通信簿が発行されます。

また、取り組み終了後には、認定証の授与式と交流会が開催され、一緒にエコライフに取り組んだ参加者との交流の機会があります。皆さんも参加して、地球環境に優しい生活にチャレンジしてみませんか。

エコライフ参加者を募集中！

◇「みんなでチャレンジ！エコライフ」の参加者を募集しています。詳しくは、本紙15ページをご覧ください。